

■後深草院二条 宮中での愛欲体験から出家後の信仰までを真摯に描く日記文学の傑作「とはずがたり」を遺した。

ごふかくさいんにじょう

・ ・ ・ ・ ・ 1258 =

北条氏の独裁体制確立後、大納言中院(源)雅忠と後深草院に新枕を教えた四条隆親の娘との間に生まれ、二統分化の因1259 = 1歳 : 母と死別すると、

・ ・ ・ ・ ・ 1261 = 3歳 : 後深草院に求められて出仕、以後その院御所で育ち、

北条時頼没・1263 = 5歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1264 = 6歳 : 叔父雅光から琵琶を学び、

将軍入替・ ・ ・ 1266 = 8歳 : 院からも琵琶を学んで、

・ ・ ・ ・ ・ 1267 = 9歳 : 後嵯峨院五十賀で演奏するまでになる。

北条時宗執権1268 = 10歳 :

その後、藤原(西園寺)実兼と初恋に陥ったが、

日蓮佐渡配流1271 = 13歳 : 後深草院の女房となって御所に入れられ、寵を得て、早くも皇女を出産、

二月騒動・ ・ ・ 1272 = 14歳 : 父雅忠が死去後、実兼と契りを結び、

・ ・ ・ ・ ・ 1273 = 15歳 : 院の皇子を出産後、実兼の子を懐妊、

元寇文永の役1274 = 16歳 : 出産した子を実兼が連れ去る一方、皇子が死去、世を傳んで出家を志すようになるものの許されず、実兼との関係が続き、後深草院を殴って謝るなどする一方、性助法親王からのアプローチを受けて関係し、

・ ・ ・ ・ ・ 1276 = 18歳 :

宋滅亡・ ・ ・ 1277 = 19歳 : 後深草院伏見殿での催しがあった際に、祖父隆親から恥辱を受けて失踪、院の懇請で御所に戻った。

元寇弘安の役1281 = 23歳 : 性助法親王との関係が院に知られ、様々に揉めるものの、親王が死去して終息後、

日蓮没・ ・ ・ 1282 = 24歳 : 親王の子を出産し、人を雇って養育するも、

沙石集・ ・ ・ 1283 = 25歳 : 祖父隆親によって御所から引き取られ、まもなく隆親も死去する一方、親王の供養などを続け、

北条時宗没・ 1284 = 26歳 :

霜月騒動・ ・ 1285 = 27歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1288 = 30歳 : 伏見天皇の中宮永福門院(実兼の娘)の入内に伴って再出仕し、三条と呼ばれたが、

久明親王将軍1289 = 31歳 : 遂に出家した。以降、東上して諸国を遍歴、

鎌倉・浅草・善光寺・熱田神宮などを訪れて参詣した後、

・ ・ ・ ・ ・ 1292 = 34歳 : 京都に戻って伏見御所を訪れ、後深草院と思い出話をして以後、院の援助を受け、

平禅門の乱・ 1293 = 35歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1294 = 36歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1302 = 44歳 : 伊勢や巖島から足摺岬まで足を伸ばし、備後和知を訪れた際、かつて付き合いのあった広沢入道が訪れて事件に巻き込まれ、

・ ・ ・ ・ ・ 1303 = 45歳 : 京都に戻ったが、

・ ・ ・ ・ ・ 1304 = 46歳 : 病臥。後深草院が死去。

・ ・ ・ ・ ・ 1306 = 48歳 : 以後、院の思い出を胸に、信仰に生きるとともに、宮廷生活や出家後の旅の思い出を振り返って、

・ ・ ・ ・ ・ 1306 = 48歳 : この年まで、日記形式の文学「とはずがたり」を書き続けた。

没年不明。